

会 議 要 旨 書

会議名	第3期三鷹市生涯学習審議会第4回定例会 第32期三鷹市社会教育委員会第4回定例会
日 時	令和4年4月15日(金) 18時30分～20時30分
場 所	三鷹市生涯学習センターホール
出席委員 (15人)	田中雅文 矢崎喜美子 齋藤智志 廣瀬圭子 青木玲子 生田美秋 倉田清子 小林七子 佐伯友 和田光広 進邦徹夫 今村範子 雨谷由夏 太田みつこ 遠藤弘子
欠席委員 (3人)	鈴木弘七 高橋伸 江口聡
行政職員 (9人)	スポーツと文化部長 大朝摂子 スポーツと文化部調整担当部長・生涯学習課長 高松真也 芸術文化課長 井上仁 三鷹市立図書館長 大地好行 生涯学習課主査 下原裕司 同主査 三内紀子 同主任 中西崇郎 同主事 齊藤満里奈 同主事 笹尾梨良
会議の公開・ 非公開	公開
傍聴人数	0人
<p>(開会に先立ち、スポーツと文化部長から生涯学習審議会及び社会教育委員会について説明並びに職員の人事異動について報告を行った。)</p> <p>1 開会 (事務局より委員の出席状況、傍聴者の有無、会議要旨の公開について報告し、配付資料の確認を行った。)</p> <p>2 議題 (1) 社会教育関係団体補助金等の支出について 【会長】議題(1)社会教育関係団体補助金等の支出について、事務局より説明をお願いしたい。 【スポーツと文化部調整担当部長】社会教育関係団体補助金等については、社会教育法第13条に定められている「社会教育関係団体に対し補助金を交付しようとする場合には、社会教育委員の会議等の意見を聴いて行われなければならない」という規定に基づき、社会教育委員の皆様にご意見をお伺いするものである。</p> <p>ア 三鷹市芸術文化協会 構成団体、趣旨・目的、補助金額について説明した。 ～委員からの質問、意見なし。</p> <p>イ 三鷹市文庫連絡会 構成団体、趣旨・目的、補助金額について説明した。 ～委員からの質問、意見なし。</p>	

ウ 自主グループ講師派遣事業

事業の目的、派遣対象、応募団体数等について説明した。

【会長】自主グループ及び高齢者自主グループ講師派遣事業の両方に申し込んでいる団体は、どちらか1つしか採択されないのか。

【スポーツと文化部調整担当部長】そのとおりである。高齢者自主グループの枠では、年間2回の講師派遣が可能となっており、両方に申し込んでいる団体がある。

【A委員】申込団体の一覧については、事前に事務局でスクリーニングがされているのか。

【スポーツと文化部調整担当部長】申込みのあった内容をそのまま記載している。

【会長】事前に講師の内諾を得てから申込みしているのか。

【スポーツと文化部長】内諾を得ている団体と、そうでない団体があると思う。

【B委員】開催予定時期が未定の団体が多いが、採択された後に実施できなくなった場合はどうなるのか。

【スポーツと文化部調整担当部長】昨年度も、コロナの影響等で未実施となったものもあったが、結果的に市の予算が未執行となる。

～委員からの意見なし。

(2) 「三鷹市生涯学習審議会・三鷹市社会教育委員会議の意見」の策定に向けたテーマの決定及び分科会について

【会長】議題(2)「三鷹市生涯学習審議会・三鷹市社会教育委員会議の意見」(以下「意見書」という。)の策定に向けたテーマの決定及び分科会について、事務局より説明をお願いしたい。

【スポーツと文化部調整担当部長】資料2をご覧ください。委員の皆様からいただいたテーマに関する多くのご意見をもとに、「学びと活動の循環」「スクール・コミュニティ」「人生100年時代」「新たなコミュニティ」の4つのテーマにまとめた。また、「情報化」等を各テーマに共通する項目とし、さらに各テーマに関連するSDGsの項目をあげた。

資料3をご覧ください。次回以降の定例会の中で、分科会に分かれて検討する時間を設けている。令和4年7月から9月まで及び11月から令和5年1月までに、必要に応じて分科会ごとに開催していただければと考えている。令和5年2月の定例会では、意見書の案をご協議いただき、令和5年4月の定例会で最終案をご確認いただく予定である。

【C委員】分科会の開催については、各分科会の判断でよいのか。また、最終的なまとめはどのような形になるのか。

【スポーツと文化部調整担当部長】分科会の開催については、進行状況に応じ各分科会で決めていただければと考える。また、最終的なまとめについては、現段階では4つのテーマの柱が構成の案になるかと思う。各分科会からの報告も参考に、委員の皆様と相談、共有させていただきたい。

【A委員】市職員も分科会のメンバーと考えてよいのか。また、意見書の最終的に目指す方向がどこなのかを共有しておいた方がよいと思う。また、実現可能性をどれくらい見積ればよいのか。

【スポーツと文化部調整担当部長】市職員は、各分科会の事務局として考えていただきたい。

様々なご意見をいただくことは、三鷹市にとって刺激になりありがたいが、一方で実現可能性も見据えてご意見を出していただくという視点もあると考える。各分科会での検討の中で、資料や担当職員の意見等が必要であれば、できる限り対応させていただきたい。

【会長】今の行政の枠の中で提言するのでは、新しいものは生まれない。しかし、実現可能性のないことばかりを提言しても、ほとんど実現できない。今は実現が無理でも、10年後、20年後を見据えた意見を提言することは大切だと思う。事務局と委員の皆さんで意見交換しながら判断していきたい。

【D委員】各分科会が開催され、そのあと各分科会からの報告があるが、それを取りまとめたり、委員の皆さんで審議したりということはないのか。

【スポーツと文化部調整担当部長】定例会の中で各分科会での内容を報告・共有して、議論していただければと思う。その中で、審議会全体としての意見の取りまとめを行っていただきたい。

【D委員】取りまとめは、令和5年2月の第7回定例会で行うのか。各テーマが相互に絡んでいると思うので、各分科会の意見を切り分けてしまうと、連動してどのようにしたらよいか分断されてしまう。各分科会からの報告内容がどのように連携していくのかを、審議会全体で議論する時間がないように思う。

【スポーツと文化部調整担当部長】令和4年10月の第6回定例会及び令和5年2月の第7回定例会の中で、各分科会からの報告及び全体での共有を行っていただければと思う。限られた時間の中なので、効率的な運営となるよう会長とも相談しながら進めていきたい。

【会長】各分科会から報告をしていただき、相互に意見交換をして、その中で各テーマとなる章をつなぐ議論を定例会の場でやっていただけるとよい。

意見書を作成するのは、事務局になるのか。

【スポーツと文化部長】事務局が委員の皆様のご意見をまとめたり、議事録を作成したりするが、意見書の作成については、委員の皆様と担当の事務局で相談していただければと思う。

【副会長】令和元年に出された意見書の中身が、どれだけ実行され、何が課題として残っているのかを教えてください。

【スポーツと文化部調整担当部長】生涯学習プラン2022の進捗状況については、これまでも定期的にご報告してきているが、令和元年に出された意見書の検証については、今後何らかの情報提供ができるように調整したい。

(この後、分科会ごとに顔合わせ及びテーマについて議論を行った。)

【会長】各分科会でも出された内容について、簡単に報告いただきたい。

① 学びと活動の循環

【A委員】他のテーマについても、専門であったり興味があったりというメンバーが多く、各テーマとつながっていけると感じている。

② スクール・コミュニティ

【副会長】コミュニティ・スクール委員やスクール・コミュニティ推進員をやられているメンバーがいて、現場の課題を抱えていることがわかった。また、体育協会としては、指導力を学

校でも活かしたいというご意見も出た。スクール・コミュニティは、生涯学習としてやっていける可能性をいくつも見出していける。子どもと大人が一緒に行動して学び合える、そのような場を作っていけるような提言をできたらよいと考えている。

③ 人生 100 年時代（子どもから大人まで）

【B委員】生涯学習の学びを通して、子どもと大人が何か一緒にできないかを検討していきたい。メンバーの中には、すでに実践しているかたもいるので、このテーマに沿って専門性を活かしながら、どのようにしたら広めていけるかという具体的な提案ができればよいと考えている。

④ 新たなコミュニティ

【C委員】次回までに各メンバーが、このテーマでイメージしていることをまとめて、それをたたき台として議論を詰めていく。また、三鷹市がどのようなコミュニティのプランを持っているかを把握した上で、進めていきたい。

3 報告

令和4年4月23日（土）に開催される、東京都市町村社会教育委員連絡協議会定期総会について、報告を行った。

4 その他

【事務局】次回は、令和4年6月28日（火）午後6時30分から、生涯学習センターで開催予定である。

—閉会—